

「市長と語る会（東郷地区）」開催報告

- 1 日 時 令和6年9月24日（火）
18:30～19:50
- 2 場 所 東郷公民館
- 3 対象者 主に東郷地区
- 4 参加者 28人



5 ご意見

意見	内容
災害時における避難所の運用について	・東郷地区の指定避難所は東郷公民館と旧葉原小学校。避難所は、立地、収容人数など要件を満たし、かつ安全でなければならない。東郷公民館はすぐそばが木ノ芽川で危ない。旧葉原小学校は遠い。市長の考えはどうか。 ・発災時に旧葉原小校区は孤立する。指定避難所に物資を置いておき、地元で対応できる体制を取る必要がある。孤立化対策として、物資輸送にドローンを活用してはどうか。
町内会館の自主避難所としての役割について	市から区の会館を自主避難所として開設できるよう協力依頼があり、自分の区もどうしようか悩んでいる。能登半島の豪雨災害を見ても、早急に考える必要がある。
とうろう流しと大花火大会の費用について	費用がかかり過ぎるという指摘ではないのだが、かかった費用はいくらか。
嶺北や滋賀へつながるルートの確保について	敦賀の地形は、古代から木ノ芽峠を越えて東郷に入り、愛発を抜けて滋賀に行くルートがある。これを維持しておく、嶺北から敦賀、敦賀から滋賀へ繋がるルートが確保できる。国道8号線で事故の際、国道476号線が迂回ルートになるので、この道は確保する必要がある。
小中学校体育館の冷房設備について	県では高校の体育館に冷房を設置するとの話を聞いた。市でも小中学校の体育館を整備する必要があるのではないか。
国道の工事について	国道476号線の新保区まで、片側に歩道を付けることになっている。回覧板でやっと工事が始まることを知った。開始と完成の時期を教えてほしい。
東郷地区の名所旧跡について	東郷地区は名所・旧跡が多い。特に、木ノ芽古道は道元禪師、織田信長、明治天皇といった歴史上有名な人が通った古道なので、整備して観光名所にしてほしい。
自主避難所の補助について	中区の会館は古く、耐震診断、耐震補強をしないと、自主避難所として活用できないし、物資や暖房設備を確保しなければならない。補助があるとありがたい。
下水道整備について	旧咸新小学校跡地に整備する学校給食センターの排水量などが大変問題だと思う。それも含め、総合的に下水道整備を検討してほしい。
市職員について	市職員の不祥事が続き、人事管理やガバナンスが心配。職員の教育面、管理面をしっかりとやらないと、信頼が崩れてしまう。